

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年4月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2019年4月9日～4月24日
- 調査対象 200社
- 回答企業 116社
- 回収率 58.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の4月の状況を見ると業況DIは、前月より2.7ポイント改善の▲18.9となった。

2017年9月以来20ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲15.5、当月に比べ3.4ポイントの悪化を見込んでいる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2018年 11月	12月	2019年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 2019年5月～ 7月
業況	▲21.6	▲21.1	▲24.5	▲25.9	▲21.6	▲18.9	▲15.5
売上	▲7.2	▲9.2	▲21.8	▲27.9	▲17.1	▲6.1	1.8
採算	▲21.6	▲12.8	▲23.6	▲26.0	▲24.3	▲15.5	▲17.2
仕入単価	▲43.2	▲30.2	▲36.4	▲41.4	▲43.2	▲47.4	▲50.0
販売単価	-	-	-	-	-	6.0	6.1
従業員	32.4	31.2	27.5	29.8	33.3	35.4	43.1
資金繰り	▲9.9	▲7.3	▲10.0	▲8.7	▲7.2	▲9.5	▲8.6

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2018年 11月	12月	2019年 1月	2月	3月	4月	先行き見通し 2019年5月～ 7月
建設	▲51.9	▲20.0	▲34.7	▲40.7	▲18.5	▲17.8	▲17.9
製造	▲25.0	▲37.5	▲32.0	▲32.0	▲24.2	▲25.8	▲9.7
卸売	▲15.0	▲17.4	▲26.1	▲15.0	▲22.8	▲8.7	▲4.4
小売	▲25.0	▲5.5	▲16.7	▲13.3	▲26.6	▲20.0	▲33.3
サービス	▲50.0	▲21.1	▲5.5	▲17.6	▲16.6	▲21.1	▲21.1

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・今年 4 月より商品価格改定による販売状況の動き。(総合工事) ・7 月までの工事については新築塗装が少ない。リフォーム塗り替えで工事を行っている。(設備その他) ・社員のスキルアップ意識が高まってきたので業績が上向いている。(設備その他) ・越年工事が少なく 1～3 月に会社にいる従業員が多く、休暇の消化はできたが会社の利益は減少。(建築)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・受注遅れで売上高減少。(家具木材) ・製紙メーカーの生産調整により、注文に供給が追いつかない現象が全国的に起きている。業界としての好条件はない。(印刷・出版) ・設備投資と人材確保、人材育成に早く手を打たなければと危機感をもつ。(金属窯業他) ・夏の選挙の動向を気にしている。売上にも大きく影響がある。(金属窯業他)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足の影響。製紙メーカーは昨年の自然災害（地震・台風等）、又製紙会社の火災により製品が生産できない状態が続いているため、商品が入手できない状態が 10 月頃まで続く見込み。(紙製品) ・物流の確保、運賃上昇、新旧社員の入れ替え時期(食料品) ・海産物等の不良の影響で仕入単価が上がっている。(食料品) ・大型連休に伴う需要の変化。(その他)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・軽減税率対象業種にて影響がある。(食料品) ・従業員不足が解消されない。(その他)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・4 月に入ってスキー客が来なくなり毎年のことですが売上が減少。全道のホテル宿泊も 4 月が一番悪い時期。4 月後半からのゴールデンウィークの 10 連休でどのような結果が出るか楽しみ。(理美容クリーニング) ・人材不足、コスト上昇。(ホテル・旅館) ・TPP 対策として農業土木予算が増加傾向にある。(その他) ・G.W.は人手が足りないので間引き営業の予定。(飲食)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI7.8 ポイント改善、採算 DI11.6 ポイント改善、仕入単価 DI5.7 ポイント悪化、資金 DI10.8 ポイント悪化、従業員 DI5.2 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 0.7 ポイント改善したが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、総合工事 8 ポイント悪化、設備・その他 2 ポイント、建築業 25 ポイント改善となった。資材価格の高騰、下請業者の確保が困難。下請業者施行単価が上昇しているとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI14.0 ポイント改善、採算 DI1.9 ポイント悪化、仕入単価 DI4.0 ポイント改善、資金 2.9 ポイント悪化、従業員 DI15.5 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 1.6 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 12 ポイント、印刷・出版 7 ポイント改善、家具・木材 12 ポイント、金属窯業他 8 ポイント悪化となった。主要生産品の道路標識基板が高速道路関連で短期的に増大。8 月以降は見通せないとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI4.4 ポイント改善、採算 DI27.3 ポイント改善、仕入単価 DI16.4 ポイント悪化、資金 DI4.9 ポイント改善、従業員 DI3.1 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 14.1 ポイント改善したが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、繊維・衣服等 25 ポイント悪化、食料品 21 ポイント、機械鋼材横ばい、その他 22 ポイント改善となった。前年度よりも若干業況は良いが、飛び抜けて良い訳ではないとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI 横ばい、採算 DI 横ばい、仕入単価 DI 横ばい、資金 DI 横ばい、従業員 DI6.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 6.6 ポイント改善となった。業種別では、食料品 25 ポイント悪化、衣料品、自動車横ばい、その他 40 ポイント改善となった。従業員不足が解消されないとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI27.1 ポイント改善、採算 DI6.8 ポイント改善、仕入単価 DI2.6 ポイント悪化、資金 DI0.9 ポイント改善、従業員 DI2.6 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 4.5 ポイント悪化となった。業種別では、飲食 8 ポイント改善、理美容・クリーニング、ホテル・旅館、その他、整備業横ばい、運送 33 ポイント悪化となった。燃料・修繕費、車両価格等の上昇。運転手の高齢化。募集しても集まらないとの声も寄せられている。</p>